

公の施設目標管理型評価書

施設名	味方B & G海洋センタープール			
管理者名	新潟市開発公社	指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	
担当課	南区地域課			
所在地	区名	南区	住所	南区七穂32番地7
根拠法令	スポーツ基本法			
設置条例	新潟市体育施設条例			
施設概要	敷地面積 1,083.1㎡ 鉄骨平屋建 25×13m・幼児用プール 更衣室(2室)、事務所 その他 駐車場は野球場と兼用			

施設設置目的
スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。
管理・運営に関する基本理念、方針等
(1)新潟市体育施設条例(以下「条例」という。)に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。 (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用を確保すること。 (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。 (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。 (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。 (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。 (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。 (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	・ホームページアクセス数(管理施設全体)が年間3,000件以上	26,211件	A	目標達成
	基準利用者数の達成	年間利用者数 5,000人以上	4,653人	C	目標不達成
	苦情・要望に対する対応	・苦情・要望には7営業日以内に回答 ・苦情対応マニュアル整備	・回答が必要な苦情・要望なし ・整備済み	B	適切に実施
財務	市の収入の増加	・使用料収入を年間300千円以上	330,200円	A	目標達成
業務	人身事故に関するもの	・補償を伴う事故発生件数0件	該当なし	B	該当なし
	物損事故に関するもの	指定管理者が修繕できないものが5年間(管理施設全体)で1件以下	該当なし	B	該当なし
	臨時休業時間	指定管理者の管理運営責任で臨時休業日0日	該当なし	B	該当なし
	プール監視要項整備	プール監視要項を整備し実施する	遵守	B	適切に実施
	日常連絡の適切さ	・月次報告書の締切厳守 ・市からの質問事項等の〆切厳守	遵守	B	適切に実施

業 務	事業計画・事業報告の適切さ	事業計画書・事業報告提出の〆切厳守	遵守	B	適切に実施
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・安全責任者は常勤職員が配置されているか ・安全責任者が不在の場合の代理が決まっているか ・連絡体制、連絡方法のマニュアルが整備されているか	・施設長が兼務。施設長不在の時は次席 ・緊急連絡網整備済み	B	適切に実施
	事件・事故発生時の対応の適切さ	・利用者の安全確保のための対応要項が整備されているか(避難の誘導や蘇生対応等) ・警察や消防への連絡体制が整備されているか ・被害拡大の予防対策が整備されているか(初期消火、施設の閉鎖等) ・市の主管課への連絡体制が整備されているか ・事件・事故対応訓練や講習を年1回以上実施 ・事故報告は発見より30分以内 ・重クレーム報告は1時間以内 ※一報は電話でよい	・緊急連絡網の整備 ・消防訓練実施 ・警察指導による防犯講習会を開催 ・応急手当普及員による救命講習会を受講 ・事故報告・重クレーム報告該当なし	B	適切に実施
	関係法令の遵守	個人情報の取り扱いに関するマニュアルの整備	整備済み	B	適切に実施
	守秘義務の徹底	機密情報の取り扱いに関するマニュアルの整備	整備済み	B	適切に実施
	業務基準書等に定める事項の遵守	業務基準書等に定める事項の遵守	遵守	B	適切に実施
	人 材	知識や技能の向上	・プール救助訓練を年1回以上実施し担当者は全員参加すること ・業務用の実施マニュアルを整備している	・水難訓練及び普通救命講習受講 ・プール監視要項・救助マニュアルは整備済み	B
プール監視員の条件		・視力1.0以上(コンタクト可・眼鏡可) ・泳力25m以上	遵守	B	適切に実施
労働基準の充足		労働関係法令の遵守	遵守	B	適切に実施

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
 B: 要求水準(評価指標)が達成されている
 C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

残念ながら年間利用者数には届かなかったが、白根総合公園屋内プールができ、昨年度は年間利用者数が1,200人減ったところから600人戻した。快適に利用しやすい環境づくりを心がけ利用者が増加できるように努力したい。3年連続でB&G財団から特Aの評価をいただいた。施設修繕でB&G財団から助成を受けられるように特Aを維持していく。

所管課による総合評価(所見)

当施設の指定管理業務は、基準書並びに業務計画書に基づき、適正に管理されている。施設管理について、B&G財団から最高ランクの評価をされている。引き続き、適正な施設管理と利用者並びに使用料収入の増加に向けた取り組みに期待する。